

水田畦畔除草について【ネズミが減り畦畔は崩れません】

秋冬期にラウンドアップマックスロードを畦畔に散布すれば、翌春までの長期抑制が可能です。積雪による重みで畦畔の土が締まるので畦畔の崩れも心配ありません。



前年：無処理

前年：秋処理

翌春までの長期抑制が可能

春の忙しい時期に畦畔除草が省けるので、省力化になります。

低温時に強い

雑草の葉が緑色であれば、秋の低温時でも安定した効果を発揮します。

突然の雨でも

散布から1時間たてばその後雨が降っても大丈夫です。

ネズミ穴が減る

野ネズミの越冬場所を無くすので、畦畔の崩れや漏水の原因となるネズミの穴を減らせます。

斑点米カメムシ減少

生育場所となるイネ科雑草を長期間抑制する事で、斑点米カメムシの発生を抑制できます。

ふれあい営農センターでお求めやすい価格で除草剤を販売中！！

ラウンドアップマックスロード 500ml ￥1,618 (税抜)

￥1,780 (税込)

ラウンドアップマックスロード 5.5ℓ ￥8,818 (税抜)

￥9,700 (税込)

野ネズミから果樹を守りましょう

近年、野ネズミの食害による樹勢衰弱や枯死などの被害が問題視されています。果実の収穫が終了し本格的な冬へ向けての重要な作業が、野ネズミ対策です。

■野ネズミの密度を下げましょう

被害を軽減するにはネズミの個体数を少なくすることが最も重要です。

◎巣穴に殺ソ剤・毒エサを直接投入し駆除する方法。

(毒エサを用いる場合は、人や他の動物に影響がないように注意)

防除薬剤	使用時期	使用量	使用方法
㊦ヤソヂオン (蓄積毒) (急性毒性弱)	根雪前 (11～12月)	200～ 300g/10a	本剤10～20gをそのまま、あるいは10～20gの小袋詰を野ソ穴に投入するか、野ソの通路に配置する。
㊦Z・P (急性毒性強)	融雪直後 (3～4月)	1ヶ所あたり 1～5g	野ソ穴1ヶ所あたり1～5gをそのまま又は紙袋として投入する。

注：㊦は購入の際に印鑑が必要です。

ネズミが出入りしている「生き穴」に投入することで、効果を上げることができます。

「生き穴」・・・穴がきれい、入口の周りに草が生えてない

前日に穴を全部踏み固め、翌日開いているのが「生き穴」

◎忌避法

忌避剤を樹冠下に散布して、樹冠下周辺の野ネズミの密度を下げ被害を軽減させる方法。12月頃に樹冠下の落葉や敷きワラなどを取り除いて散布し、散布後に表土と混和させる。苗木の仮植えの際にも忌避剤を用いた方がよい。

作物名	防除薬剤	使用時期	使用量	使用回数	使用方法
りんご おうとう	フジワン粒剤	根雪前	樹当り 200g	2回以内	本剤の所定量を樹冠下半径約50cmの範囲の土壌と均一に混和する。

野ネズミは、タバコ・化粧・香水など人工的な匂いを強く警戒します。

⇒駆除作業時はなるべく匂いがつかないように注意

⇒手袋を必ず着用

◎環境整備

秋期に園内の雑草が繁茂していると野ネズミが入りやすいので、草刈り等を
確実に行う。